

事業所名

一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会
にじのわ松森

支援プログラム

作成日

R7 年

2 月

14 日

法人（事業所）理念		障害のある方々が、家庭・学校・施設・職場など地域社会で、地域の方の理解と支援により共に明るく生活する事を願っています。			
支援方針		家庭や学校、他事業所と連携しながら、ひとりひとりが秘めている様々な可能性を広げるお手伝いをし、子ども達がいつでも安心して過ごせる居場所作りを目指しています。			
営業時間		(月)～(金) 9:00～18:00(昼休み12:00～13:00)		(土)・(祝) 9:00～17:00	
				送迎実施の有無	あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	登所時の流れ(靴をしまう、カバンを置く、上着を掛ける、連絡帳を出す、手を洗う)を掲示・声掛けをしながら身に付ける。 お料理会やおやつ作りの活動で、食や調理への意識を向ける。 自分の物を自分で管理し、持ち物への意識を付けられるよう声掛けやイラストで支援する。			
	運動・感覚	気候の良い時は、公園に行って遊ぶ活動を取り入れている。 空き箱などを使った工作を行い、ハサミやテープの使い方に慣れたり、手先を動かす機会につなげる。 スポーツレクの活動で、体を使った遊びを行っている。			
	認知・行動	スケジュールや時計カードを使った視覚的なツールを用いた支援を行っている。 不適切な行動につながらないよう、安全に遊べるものを用意し、環境設定を行っている。 状況を見て、自分から進んで自分から良い行動をした際には、行動を認めて感謝を伝えて意欲につなげる。			
	言語 コミュニケーション	絵カードや時計カードを使った活動の見通しをもち、安心して活動に取り組めるようにしている。 言葉やジェスチャー、手話などで「かして」「ありがとう」「おねがい」「遊ぼう」などのやり取りをしている。大人とだけでなく、子ども同士でもやり取りができるように支援をする。 大声や暴力を使わず、穏やかに伝えた方が相手に伝わるという経験を積み重ねていく。相手に上手く伝わらなかった時、どうしたらいいかをスタッフと一緒に考えていく。			
	人間関係 社会性	集団でカードゲームやスポーツをする事で他者と関わり、自分の気持ちに折り合いをつける経験を重ねる。 ごっこ遊びを通じて、想像力や関わり方を育てている。 やり取りを通して、自分の気持ちの伝え方や相手への接し方を子どもと一緒に考えていく。			
家族支援		必要に応じて延長支援を行う。 保護者会などを通して、保護者同士が情報交換できる機会を設ける。		移行支援	必要に応じて、進学先・就職先との情報共有を行っている。
地域支援・地域連携		地域のゴミゼロ運動や町内の祭りへの参加、近所の公園に行くなど、近所の人と触れ合う機会を設けている。		職員の質の向上	職員会議の時間を使い、内部研修の実施。 外部研修への参加。
主な行事等		保護者参加型の夏祭り、クリスマス会を毎年恒例としている。 毎月、季節に応じた活動(week)を行っている。毎月防災訓練(火災、地震、水害、非常食体験など)を行っている。			